

環境保全への取り組み

自然環境の維持および改善に努めることは、企業市民としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力することは資源を消費する企業としての責務です。当金庫はさまざまな環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

事業活動における環境負荷の低減

【環境自主行動の実施】

地球温暖化対策については、信用金庫業界を挙げて取り組んでおります。

当金庫は、平成23年度より電気使用量前年度比マイナスを目標として、本部及び営業店で取り組み、平成26年度は取り組み以前の年度(平成22年度)に比べ、28.47%の削減に成功しました。

【エコキャップ運動の推進】

平成22年4月より、エコキャップ回収運動“キャップで、ワクチン”を全店で実施しています。地域の皆様にも呼びかけた運動を展開し、発展途上国の子供たちにワクチンを送るとともに、CO₂発生抑制に寄与しています。

平成27年5月末で、4,457千個、ワクチン5,571人分、CO₂削減量に換算すると35,101kgが集まっています。

【クールビズ、ウォームビズの実施】

夏(5月～10月): 上着なし、ノーネクタイ、冷房温度27℃(本部28℃)

冬(12月～3月): 上着、暖房温度20℃

茨城エコ事業所登録

地球温暖化や廃棄物の増加など、深刻な環境問題の解決のため、事業所による環境負荷を低減する取り組みが不可欠となっています。

茨城県では、地球環境に配慮した取り組みを積極的に実践している事業所を「茨城エコ事業所」として認定しており、当金庫は最高位“AAA-L”に登録されています。

環境関連商品

当金庫は、環境保全活動を通して地域貢献を図るため、「住宅ローン」、「エコカープラン」を取扱っています。「住宅ローン」は環境に配慮した機器を設置した住宅を新築・購入する場合、店頭金利よりマイナス金利が適用される項目の一つとして加えました。「エコカープラン」はハイブリット車・電気自動車・天然ガス自動車若しくはエコカー減税対象車の購入を資金用途とし、「カーライフプラン」に比べ低金利で利用できる商品です。

環境に配慮したエコ店舗

平成24年3月に移転オープンした関城支店、及び平成24年9月に新規オープンした小山城南支店は、屋根にソーラーパネルを設置し太陽光発電を行い、店舗内にLED照明を多数使用するなど、環境にやさしい店舗となっています。

